



平成27年3月期 中間年次報告書

自 平成26年4月 1 日
至 平成26年9月30日

アトミクス株式会社

株主の皆様へ



拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの平成26年4月1日から平成26年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成26年12月

代表取締役社長 **小林 和幸**

目 次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 四半期連結
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・株式情報… 6 頁

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種の経済政策等により緩やかな景気の回復基調が続いているものの、消費税増税による個人消費の落ち込みは想定ほど回復せず、円安による原材料価格の上昇及びエネルギーコストの上昇など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、環境に対応した水性塗料の開発、新規製品の拡販活動、施工業者への営業活動による流通網の拡大に取り組んできました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高52億95百万円（前年同期 54億23百万円）、営業利益1億12百万円（同 1億30百万円）、経常利益1億48百万円（同 1億26百万円）、四半期純利益62百万円（同 32百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

<塗料販売事業>

道路用塗料においては、当第2四半期連結会計期間に高騰する原料価格に対応するため一部製品の価格改定を行いました。東北・北海道地区の発注量の減少により前年同期を下回りました。床用塗料においては、当第2四半期連結会計期間において工事物件が減少したことにより前年同期を若干下回りました。家庭用塗料においては、消費税増税の影響を受け各金物店と小売店の販売不振により前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期に比べて1億73百万円減少し、49億70百万円（前年同期比 3.4%減）となりました。

<施工事業>

当第2四半期連結会計期間において、子会社アトムテクノス(株)で、前期より仕掛であった工事物件が竣工し売上を計上したことにより、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期に比べて44百万円増加し、3億25百万円（前年同期比 16.1%増）となりました。

通期の見通し

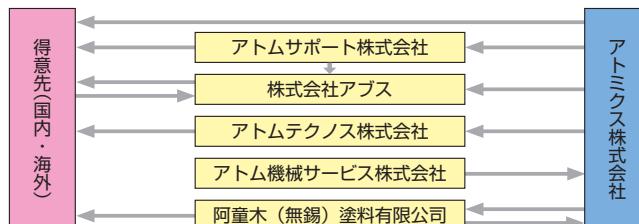
平成27年3月期の通期業績につきましては、今後も原材料価格の不透明な状況や中国経済の厳しい状況が続くと予想されるため、売上高117億81百万円（前連結会計年度 120億52百万円）、営業利益3億26百万円（同 4億58百万円）、経常利益3億67百万円（同 4億68百万円）、当期純利益1億90百万円（同 2億17百万円）を見込んでいます。

事業の概要

当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社と海外子会社1社で構成され、塗料販売事業と施工事業を行っています。塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材、光触媒製品やハードコート材など機能性コーティング材の製造販売を行っています。このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発販売、ホームセンターを顧客とする物流業務を行っています。また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

当社グループの構成



経営の基本方針

当社グループは、塗料・コーティング材・交通安全の領域において「独創性に溢れた発想」と「高度な複合化技術」によって開発した製品と関連するサービスを提供することにより「安全かつ快適な住環境・屋外環境」を実現し、「生活者との信頼関係」を築くことで「社会に貢献すること」を基本方針としています。

また、塗料販売事業と施工事業において、床用・屋根用・防水用などの建築用塗料、DIY用・ホームケア商品などの家庭用塗料、機能性コーティング材、路面標示材などの道路用塗料と施工機械、これらに関するサービスを提供し、それぞれの分野でナンバーワン・オンリーワンを目指します。

代表的な製品群

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化工法をはじめ、JIS規格品をふくめた各種製品で交通安全に貢献しています。

(2) カラー舗装材



歩車道分離や自転車通行帯などのカラー化による走行区分で交通安全に貢献しています。また、遮熱塗料でヒートアイランド現象などの環境負荷の軽減に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫のコンクリート床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境に貢献しています。

(4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

(5) 無機-有機ハイブリッドコーティング

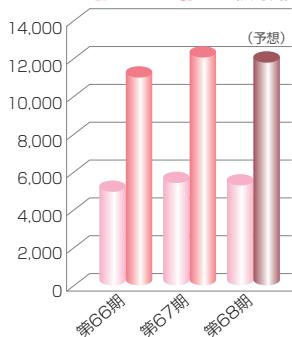


無機-有機ハイブリッド樹脂にお客様の求める高度なニーズを付加し、新たな製品展開と事業展開で貢献しています。

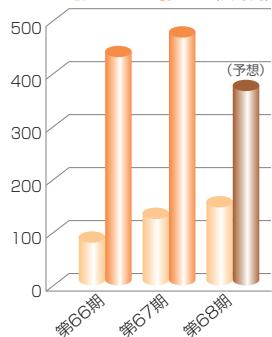
業績の推移

当社グループの業績の推移

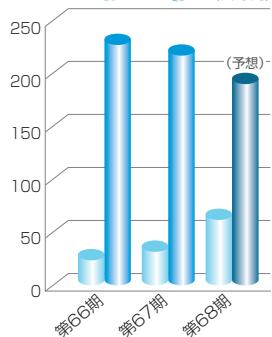
売上高 第2四半期 通期 (百万円)



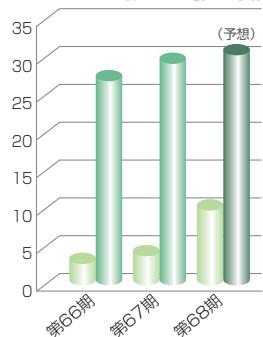
経常利益 第2四半期 通期 (百万円)



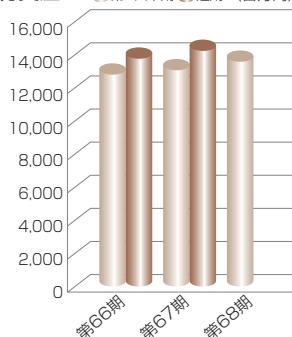
四半期(当期)純利益 第2四半期 通期 (百万円)



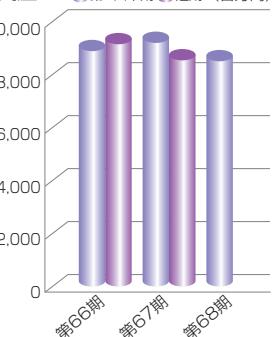
1株当たり四半期(当期)純利益 第2四半期 通期 (円)



総資産 第2四半期 通期 (百万円)

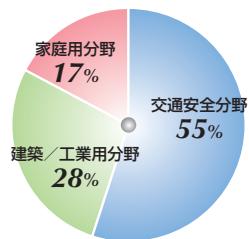


純資産 第2四半期 通期 (百万円)



売上構成 (第68期第2四半期累計)

分野別



事業別



区 分		第66期 平成25年3月期		第67期 平成26年3月期		第68期 平成27年3月期	
		第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期 (予想)
売上高	(百万円)	4,959	10,993	5,423	12,052	5,295	11,781
経常利益	(百万円)	81	431	126	468	148	367
四半期(当期)純利益	(百万円)	24	227	32	217	62	190
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	2.88	26.98	3.89	29.28	9.93	30.43
総資産	(百万円)	12,790	13,757	13,054	14,244	13,568	—
純資産	(百万円)	8,885	9,146	9,196	8,531	8,504	—

※当社は平成26年3月10日に2,198,000株の自己株式の消却を行っています。自己株式消却後の発行済株式の総数は7,242,000株で自己株式は999,940株です。

四半期連結決算報告(要約)



■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 平成26年3月31日現在	当第2四半期末 平成26年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	9,116,784	8,300,126
固定資産	5,128,116	5,268,845
有形固定資産	4,316,134	4,456,534
無形固定資産	217,587	199,097
投資その他の資産	594,395	613,213
資産合計	14,244,901	13,568,971
(負債の部)		
流動負債	4,784,444	3,588,315
固定負債	929,091	1,476,111
負債合計	5,713,536	5,064,426
(純資産の部)		
株主資本	8,338,631	8,321,437
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,012,266	6,995,072
自己株式	△ 394,034	△ 394,034
その他の包括利益累計額	192,733	183,106
その他有価証券評価差額金	115,459	140,171
為替換算調整勘定	79,506	44,980
退職給付に係る調整累計額	△ 2,232	△ 2,044
純資産合計	8,531,365	8,504,544
負債純資産合計	14,244,901	13,568,971

■ 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日	当第2四半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日
売上高	5,423,814	5,295,219
売上原価	3,828,539	3,789,434
売上総利益	1,595,275	1,505,785
販売費及び一般管理費	1,464,500	1,393,454
営業利益	130,774	112,330
営業外収益	15,159	41,951
営業外費用	19,299	5,740
経常利益	126,634	148,541
特別利益	67	1,976
特別損失	28,685	6,462
税金等調整前四半期純利益	98,016	144,056
法人税、住民税及び事業税	18,792	36,082
法人税等調整額	46,350	45,956
少数株主損益調整前四半期純利益	32,873	62,017
四半期純利益	32,873	62,017
その他の包括利益	101,265	△ 9,626
四半期包括利益	134,138	52,390

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日	当第2四半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	358,596	117,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 124,949	△ 426,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 176,085	534,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,213	△ 3,374
現金及び現金同等物の増減額	69,775	221,591
現金及び現金同等物の期首残高	2,614,838	2,324,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,684,613	2,545,792



1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社
 本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
 創業 昭和12年2月
 資本金 10億4,000万円
 従業員数 236名 (嘱託社員11名を含む
 (嘱託社員は平均人数で算出))

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
 支店 大阪府大東市
 営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・
 名古屋・広島・福岡
 工場 加須・久喜・岡山

3. 役員

代表取締役社長 小林 和 幸
 専務取締役 喜多 幸 一
 取締役 船橋 輝 男
 江森 邦 昭
 神保 敏 和
 村岡 正 巳
 花形 裕 透
 常勤監査役 陣内 康 司
 監査役 上原 左多男 (社外)
 石川 伸 吾 (社外)

4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 7,242,000株
 株主数 660名
 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
西川不動産株式会社	978千株	15.67%
アトミクス取引先持株会	830	13.31
東京中小企業投資育成株式会社	700	11.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	321	5.14
西川正洋	280	4.49
アトミクス社員持株会	186	2.98
東洋テック株式会社	126	2.01
楠本化成株式会社	106	1.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	106	1.69
ケーシー工業株式会社	100	1.60

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点以下第3位を切り捨てています。また持株比率は自己株式(999,940株)を除いて算出しています。

5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所・特別口座管理機関
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先・送付先
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 証券コード 4625
 公告の方法
 電子公告 URL <http://www.atomix.co.jp>
 (ただし、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

ATOMIX

<http://www.atomix.co.jp>